

歴史古街道団 “野外探索ウォーク（団員・一般対象）”

講師ガイド：宮田太郎（古街道研究家、歴史古街道団・代表）

申込不要（当日現地受付） 参加費（資料代・保険料込）：一般 1,500 円 団員 1,000 円（高校生以下無料）

古代東海道/七箇所の痕跡シリーズ⑦

多摩市・打越山遺跡編

多摩川を見下ろす丘で見つかった古代東海道 ～飛鳥時代の道路跡「打越山遺跡」の歴史ロマン～

【内容】飛鳥時代の天智・天武天皇の時世に全国は66ヶ国に分けられ、七つの古代官道がその後の奈良時代までに整えられていきました。中でも太平洋側を進んだ古代東海道は、関東では相模国府から常陸国府までの間を結びましたが、未だにルートは解明されない部分が多くあります。多摩市で団長が確認し議会陳情を経て発掘された推定の道路遺構＝打越山遺跡について現地に立って案内いたします。このシリーズの最北端の地点となります。

2023年5月7日（日）、23日（火）

* 2回にわたって同じ内容で開催
（平日と日曜日分けて実施）

集合：小田急多摩線「永山駅」改札口前 10：00

解散：京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」15：30頃

* 天候その他の理由により、日程やコースを変更する場合があります。事前に歴史古街道団のホームページなどでご確認ください。（当日のお問い合わせは、朝7：30まで。電話 090-7002-3431 宮田）またご参加の際は、ご自身の体調をご確認の上、お出かけください。

* 弁当、雨具をご持参ください

打越山で発掘調査始まる 平成2年（1990）1月（多摩市連光寺）



試掘（トレンチ）から開始。道路遺構が数層に分かれて堆積。人工的な工事面なども見つかる。よって遺跡とわかり本調査（発掘）が決定。地名呼称から「多摩市打越山遺跡」となった。



鎌倉幕府の早馬・急使の道「鎌倉街道早ノ道」は地中に埋まっているのか
…多摩市で初の古道調査



山側の立ち上がり部分＝「壁（へき）」
土手状の部分＝「塁（るい）」と規定（宮田）

道の進行方向に直角に入れたトレンチ（試掘溝）の深いところでは、大人二人がすっぽり頭くらいまで入ってしまう深さとなった。

【コース】 *天候その他の理由によりコースを変更する場合があります



小田急多摩線「永山駅」改札口前に 10：00 集合～馬引沢の大曲地点～聖ヶ丘～打越山遺跡の跡地～大谷戸公園で各自弁当昼食～春日神社～大坂～大栗川～京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」解散（15：30頃）



歴史古街道団

代表：宮田太郎 TEL 090-7002-3431
本部：東京都多摩市 (HP) <https://www.rekkodan.com/>

